

環境や文化に配慮した観光の推進について

令和4年8月2日

1. 令和4年度の「東京の観光振興を考える有識者会議」について

- 昨年度は、「PRIME 観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン」の改定に向けて議論 → 令和4年2月に新たなプランを公表
- 今年度は、次期プラン策定も視野に、中長期的な視点から今後の観光振興について議論
※ 現プランの計画期間は令和5年度末まで（2年間のプラン）

今年度の予定

第1回（8月2日） 環境や文化に配慮した観光の推進について

第2回（10月頃） デジタル技術を活用した観光振興について 等

令和5年度予算において、**現プランの施策をバージョンアップ**

2-1. 環境に配慮した観光の推進（都の取組）

- 都では、環境に配慮した観光を推進するとともに、中長期的にエネルギーの安定確保につながる観点から「Tokyo Tokyo」も活用して「HTT」を推進

サステナブルツーリズムの推進

【環境配慮型旅行の推進】

多摩・島しょ地域において観光協会や観光事業者等が取り組む環境に配慮した旅行商品開発や施設整備、体験プログラム開発等を支援 <補助額> 上限1,500万円（補助率1/2）

【地域のサステナブル・ツーリズムの推進】

小学生（親子）や中学生等を対象とした地域の文化や環境などを学ぶモニターツアーを造成し、ガイドラインを作成

<規模> ツアー造成3地域（区部、多摩、島しょ）で各3ツアー程度

世界自然遺産を活用した観光振興

- 昨年7月に世界自然遺産に登録された奄美・沖縄とも連携し、共同プロモーションを実施
- 令和4年度は、マナー啓発や自然保護活動のPRを強化



世界自然遺産共同ウェブサイト

アイコンを活用したPRイベントの実施

- 昨今の国際情勢等を踏まえ、エネルギーを安定的に確保していくため、電力を『H減らす・T創る・T蓄める』HTTを推進
- 都民・事業者の節電アクションの加速を呼びかけるイベント「Tokyo Cool Home & Biz」を開催



Tokyo Cool Biz Collection

持続可能な観光振興に向けた調査

- 経済、文化、環境等のバランスのとれた持続可能な観光の推進に係る各種指標等を調査
- 令和4年度は、都内宿泊事業者の環境対策への意識や取組状況を調査

2-2. 宿泊事業者アンケート調査①

➤ 2022年5月～6月に、都内宿泊施設を対象として環境対策への意識や取組状況を調査

調査概要

調査方法：郵送調査（郵送回答及びWeb回答）

サンプル数：460施設

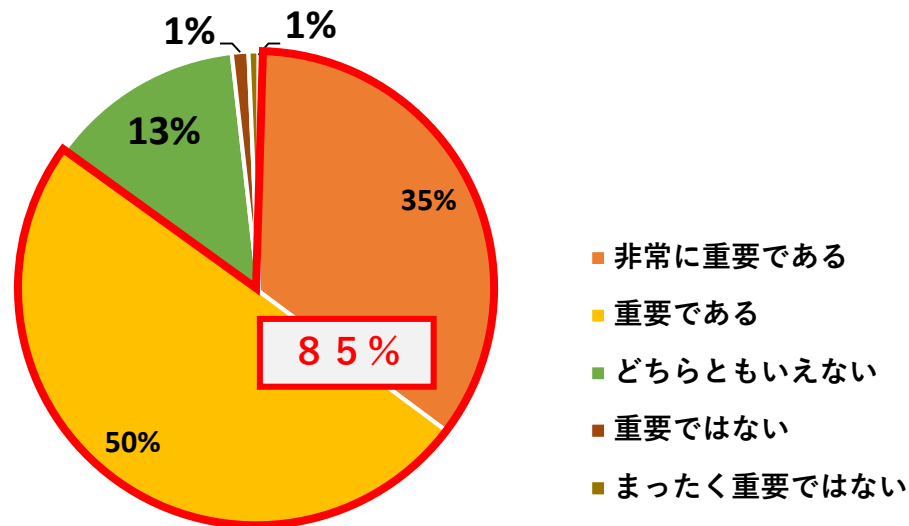
調査対象：東京都内の宿泊施設（約4,200施設）

調査結果

環境対策への意識

Q 宿泊施設の環境対策に対して、貴社の考えにあてはまるものをお選びください。

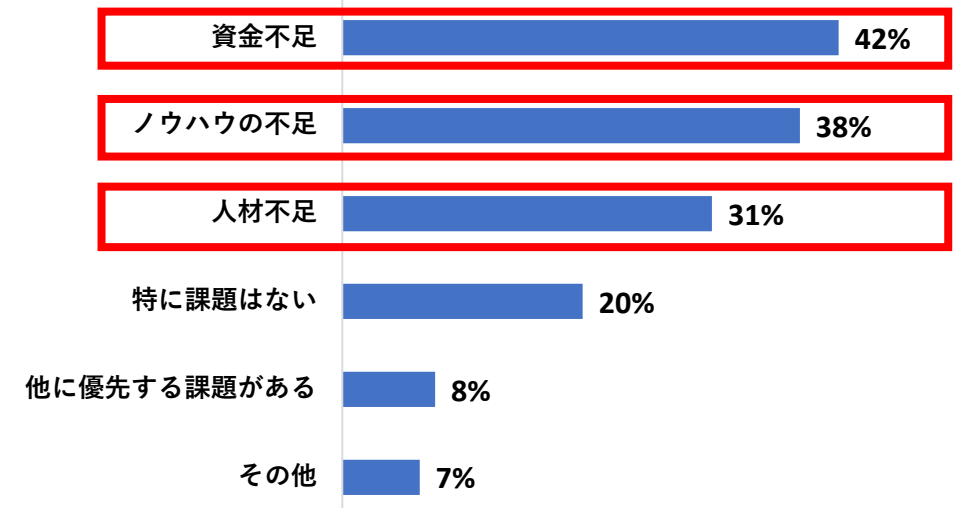
- 「非常に重要である」・「重要である」と回答したのが**85%**、
「重要ではない」・「まったく重要ではない」と回答したのは**2%**となった。



環境対策の課題

Q 貴社で環境対策を実施するにあたって、課題として考えられるものをお選びください。

- **資金不足、ノウハウ不足、人材不足**が、宿泊施設の環境対策における**課題の上位**となっている。

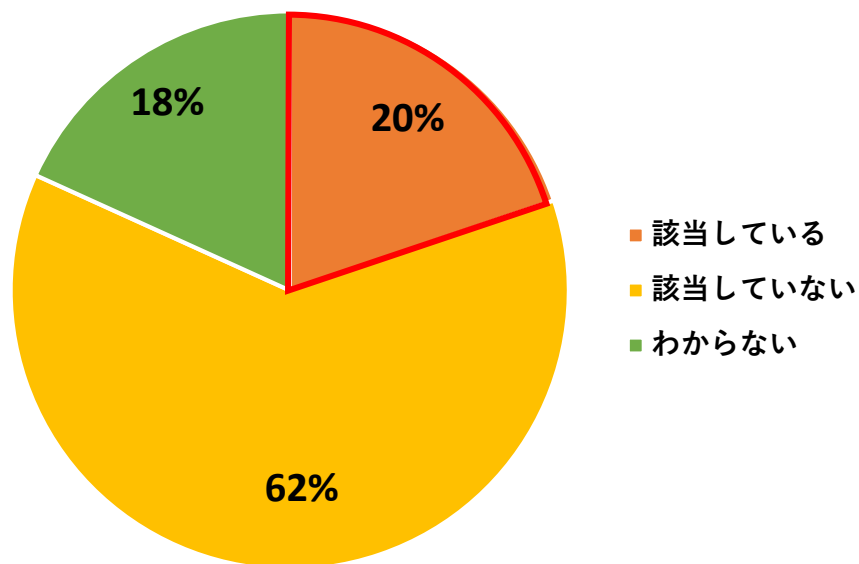


2-3. 宿泊事業者アンケート調査②

プラスチックの排出規制

Q 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」第三十条第一項に規定されているプラスチック使用製品多量提供事業者に該当しますか。

- 20%の事業者が「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の規制対象の事業者[○]に該当



- 令和4年4月1日から施行となった「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により、**特定プラ製品**を一定以上排出する事業者（宿泊事業者を含む）を対象に**規制を開始**
- 当該年度の前年度において提供した**特定プラスチック使用製品の量が5トン以上である事業者**が該当

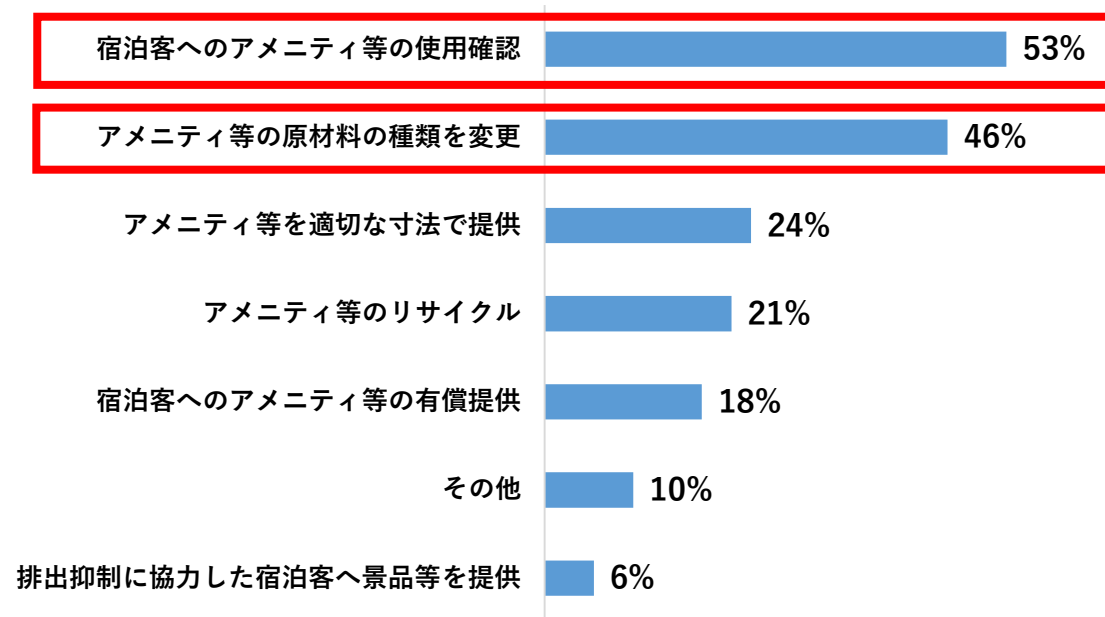
【宿泊事業者のプラスチック使用製品（例）】

ヘアブラシ、くし、かみそり、シャワーキャップ、歯ブラシ等

プラスチックの排出規制の取組

Q. 該当しているとお回答した場合、排出の抑制に係る取組として、あてはまるものをすべてお選びください。

- 宿泊客へのアメニティ等の使用確認、アメニティ等の原材料の種類を変更が、規制対象に該当する宿泊事業者における取組の上位となっている。



※ その他（一部抜粋）

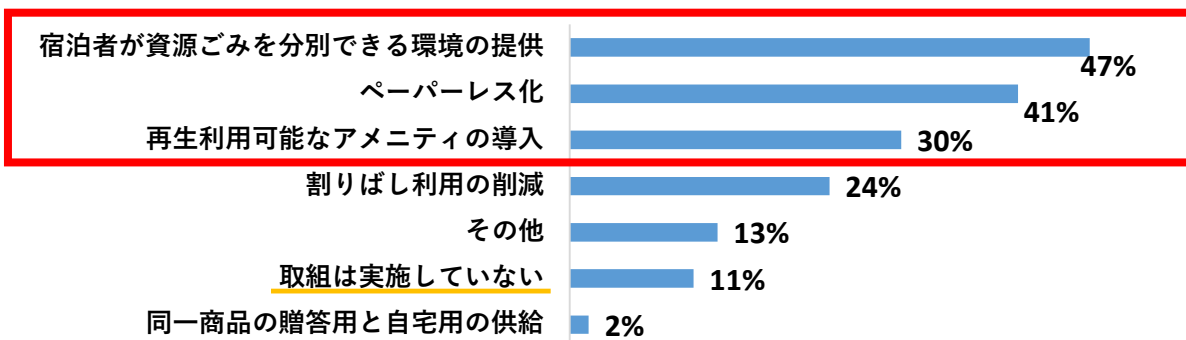
- ・ アメニティバーを設置、必要分のみを宿泊者へ提供
- ・ アメニティの提供を廃止、宿泊者の持参を呼び掛け

2-4. 宿泊事業者アンケート調査③

廃棄物削減の取組

Q 貴社で取り組んでいる廃棄物削減の取組として、あてはまるものをお選びください。

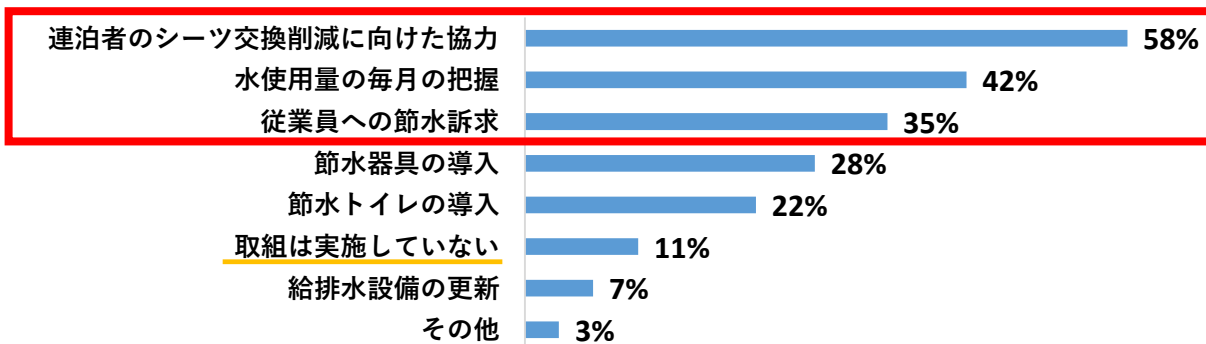
- ごみの分別、ペーパーレス化、再生利用可能なアメニティの導入が、廃棄物削減の取組の上位となっている。



節水の取組

Q 貴社で取り組んでいる節水に向けた取組として、あてはまるものをお選びください。

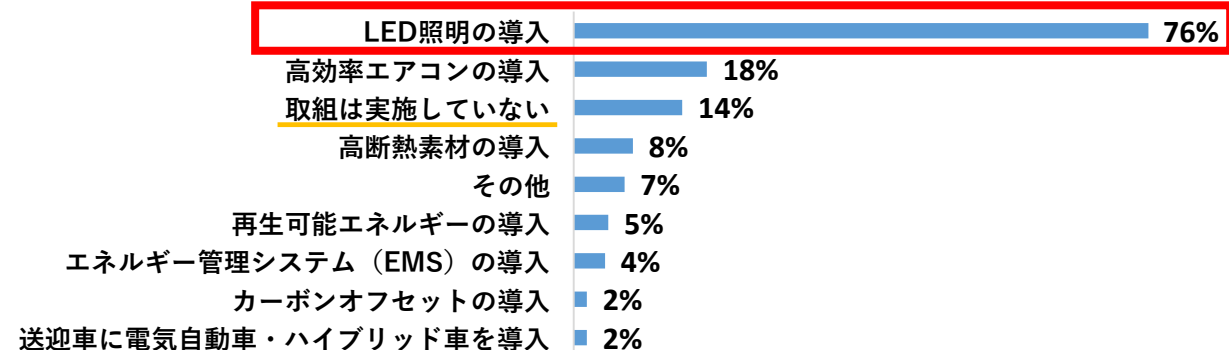
- 連泊者のシーツ交換削減に向けた協力、水使用量の毎月の把握、従業員への節水訴求が、節水に向けた取組の上位となっている。



エネルギー対策の取組

Q 貴社で取り組んでいるエネルギーや温室効果ガス対策の取組として、あてはまるものをお選びください。

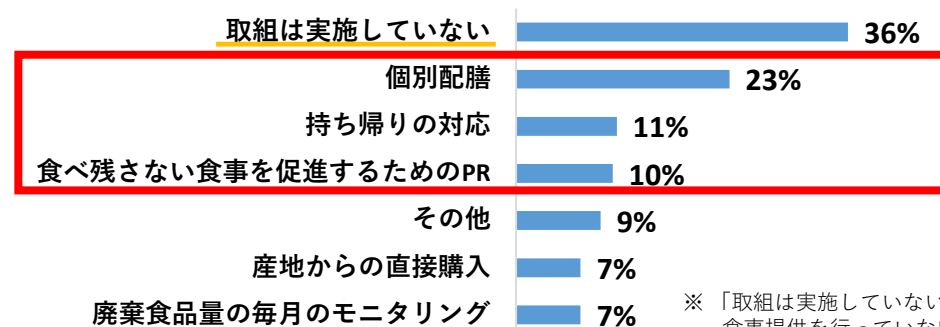
- LED照明の導入が、エネルギー対策の取組の上位となっている。



フードロスの取組

Q 貴社で取り組んでいるフードロスの取組として、あてはまるものをお選びください。

- 個別配膳、持ち帰りの対応、食べ残さない食事を促進するためのPRが、フードロスの取組の上位となっている。



※ 「取組は実施していない」と回答した施設には、食事提供を行っていない施設も含まれる。

3-1. 文化資源の保全・活用（都の取組）

➤ 都では、都内の貴重な観光資源の喪失を防ぐための支援や、文化の魅力を効果的に発信する取組を実施

観光資源の保全等のための支援

【クラウドファンディングによる資金調達支援】

観光関連事業者がクラウドファンディング事業者に支払う手数料を助成

<支援例>

- 施設の維持補修に必要な資金を調達
- 観光資源を活用した体験プログラムやイベント実施に必要な資金を調達

【観光資源の保全等のための補助】

観光関連事業者が行う施設の保全に要する経費や技術の保全に向けた人材育成に要する経費等を補助

<支援例>

- 建物老朽化に対する維持保全を行うための大規模修繕を支援
- 後継者問題等の解決や知名度の向上に向けて、人材育成やPRイベントを支援

日本文化を活用した観光振興支援

- 文化・芸術団体との連携により、日本文化と自然などの地域資源を効果的に結びつけて実施する新たなイベントや情報発信を支援

【支援対象者】

観光協会、商工会等、商店街、町会・自治会、文化・芸術団体、その他の法人、民間事業者など地域の複数の団体・企業が連携して設置した協議会



町田で実施された能の上演イベント



都内各地の神社での「夏詣盆をどり」

3-2. 文化資源の保全・活用（都の取組）

東京の「食」の魅力発信

- ▶ 東京の優れた「食」の魅力を多くの方に楽しんでいただくため、春の食フェスティバル「Tokyo Tokyo Delicious Museum」を初開催し、約4万4千人が来場

日程 令和4年5月20日～22日 場所 江東区有明



オープニングセレモニー

- ▶ 公式ウェブサイトでは、東京の食文化にまつわる記事を公開し、国内外にその魅力を発信



国際会議参加者向けコンテンツ開発

- ▶ ハイブリッド形式による国際会議が増えてきていることから、オンライン参加者も体験できるSDGs体験コンテンツを新たに開発
- ▶ 東京での国際会議開催を検討している主催者の方へ効果的にPR

風呂敷包み体験

- 風呂敷の歴史から、東京ならではの伝統的な染色技法・デザインである江戸小紋、江戸更紗を紹介
- 日本の伝統を現代に伝えつつ、身近で実践可能なリサイクル・リユースのアイデアを提供



英語落語で学ぶ江戸東京文化

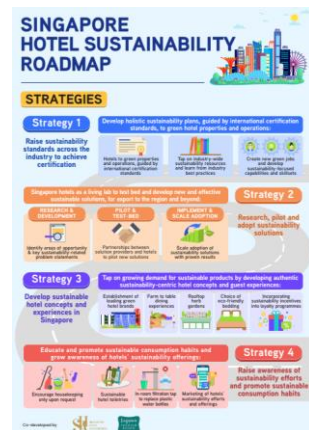
- 日本人には馴染み深い古典芸能の落語を、海外の方でも体験できるコンテンツとして開発
- 落語を英語で上演することで、演者の方々に世界で活躍する機会を提供し、落語文化の振興に寄与



➤ 海外では、観光セクターの持続可能性を強化するためのプログラムを開発し、環境に配慮した観光を推進

【シンガポール】

- シンガポール政府観光局は、観光産業のサステナビリティの基盤を強化するため、「ツーリズム・サステナビリティプログラム」（TSP）を2021年に策定
- TSPの一つとして、ホテルのサステナビリティ戦略において採用すべき目標と戦略を掲げた「シンガポールホテル・サステナビリティ・ロードマップ」をシンガポールホテル協会とシンガポール政府観光局が2022年3月に発表



シンガポール・サステナビリティ・ロードマップ

目 標

- ① 2025年までにシンガポールのホテルの客室数の60%が、世界に認知されたサステナビリティ認証を取得
- ② 2023年までに排出量の追跡を開始、2030年までに排出量を削減、2050年までに排出量0を目指す

4つの戦略

- ① 業界全体のサステナビリティ基準の向上
- ② サステナブル・ソリューションの構築
- ③ サステナブルに配慮したホテルのコンセプトや体験の開発
- ④ サステナブルな消費習慣やサステナビリティサービスへの認識向上・推進

4-2. 取組事例（文化）

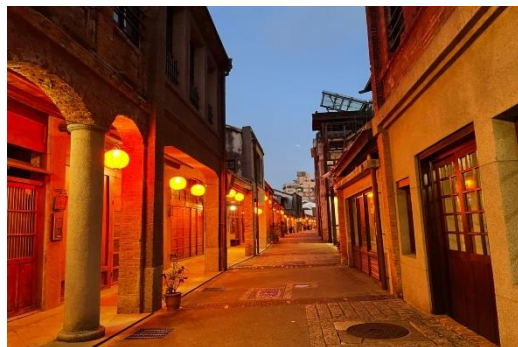
- 歴史的建造物や文化財など、地域の文化資源を活かした観光振興や文化資源の保全に取り組むことで、持続可能な観光を推進

歴史ある街並みの保全（台湾）

- 歴史的建築物に指定されている台北市萬華区の「剥皮寮歴史地区」は、台北市が街並みの保全に取り組み、清朝時代の伝統的な店屋や、日本統治時代の建物などを再生
- 映画のロケ地やアート・歴史に関する展示会の会場として活用し、地域の文化資源を活かした観光客誘致を実施



台北市萬華区「剥皮寮歴史地区」



指定文化財の活用（兵庫県）

- 兵庫県神崎郡福崎町の重要有形文化財「三木家住宅」（築300年）の蔵や離れの維持管理方法を見直し、宿泊施設として改修
- 宿泊施設の収益を維持管理費として活用することで、歴史的建造物を継承しながら、地域の観光振興を促進



重要有形文化財「三木家住宅」